

平成31年度 社会福祉法人未来 本部事業計画書

1 はじめに

平成30年度は本部事務職員の増員や施設長による役割分担の明確化で本部機能の強化を図った。労務管理事務などを本部に集約したことや各事業所共通の事項については、担当施設長が一括して実施することで法人業務の円滑化や効率化が進んだといえる。事業規模が年々拡大し、また社会福祉法人に求められる業務が増加する中で、業務を正確且つ円滑に行う体制は徐々に整備されつつある。同時に30年度は送迎中の人身事故や労働基準監督署からの指摘など、事業のリスク管理について多くの問題が表出した年でもあった。地域のニーズに応える為に組織基盤の強化による事業拡大は当法人の使命と考えるが、同時に、リスク管理についても強化していく必要がある。

31年度は基本的には30年度の計画を継続する形となる。慎重に足元を見つめながら、且つ大胆に地域のニーズに応じていく姿勢で臨みたい。

2 重点課題・目標

1) 事業

- (1) 各事業所の職員数確保
- (2) 地域生活支援拠点事業の検討
- (3) 2021年4月共同生活援助と短期入所併設事業所開設の準備
完了事項—小平市障がい者福祉課との計画合意
実施事項—用地確保・資金計画の作成（自己資金、補助金、借入金の金額精査）
- (4) 新規生活介護事業開設に向けた検討
- (5) 地域貢献事業の取組
- (6) 安全運転管理の徹底（送迎中等の安全運転及び事故防止の徹底）
 - ① 安全運転講習の実施
 - ② ドライブレコーダーの全車配備
 - ③ 定期的な安全運転チラシの配布

2) 人材育成

- (1) 本部事務能力向上による経營業務の円滑化
- (2) 施設長の育成
 - ① 事業の現状把握、分析、見直しを行うための能力向上
 - ② 事業計画書、実績報告書の作成スキル向上
 - ③ 事業所の業務監督能力向上
 - ④ 職員育成の手法取得
- (3) 管理職候補の育成
 - ① 実践を通して候補者を育成する

3) 経営管理

- (1) 会計ソフト変更の検討

- (2) 月次試算分析の精度向上
- (3) 人事業務に関する制度および規程等の習得
- (4) 理事会開催事務の円滑化

3 その他

1) 理事会

月1回定期的に開催し、事案に迅速に対応していく。

2) 評議員会

6月の定時評議員会のほか、定款変更など必要に応じて開催する。

3) 広報活動の強化

- (1) 機関誌の年2回の発行、ホームページの定期的な更新により、広報及び情報の開示を行なう。
- (2) ホームページのリニューアルについて検討を進める。

4) 賛助会の充実

法人の活動に対して機関紙の発行時などを中心に広く理解を求め、賛助会を充実させる。

5) 地域ネットワークの強化

- (1) 権利擁護事業・成年後見事業との連携強化
- (2) 防災活動
- (3) 自立支援協議会への参画
- (4) 小平市地域公益活動推進連絡会への参画